

も　　い　　の　　話 森　　林

第17話
網走西部森林管理署
高橋 陽祐

採用二年目の若手職員のコーナー

4月から網走西部森林管理署丸瀬布森林事務所に赴任し、早くも半年がたち季節は冬となりました。ついに来てしまった冬の運転にびびって仕方がない今日この頃です。



丸瀬布森林事務所

私は昨年度の3月まで、北海道森林管理局の保全課で勤務、今年度からは以前までの仕事内容とは大違いの森林事務所勤務となりましたが、優しい森林官と山に詳しい現場の非常勤職員の方々のおかげもあり、森林について楽しく学べています。

【主な業務内容】

森林事務所では、これまで林野巡視や地況林況調査、支障木調査などをしました。林野巡視では、長い時間

林道を運転する日もあります。林道での運転は舗装道路の運転とはまったく違う難しさがあります。何度もうやひやする場面がありました。

しかし一番ひやひやしていたのは助手席に同乗している森林官だったのかなと思います。

地況林況調査については、標準地調査やビッタリツヒ法、全天球カメラの使用など様々な方法を学びました。私のお気に入りはビッタリツヒ法です。

支障木調査では、私は輪尺で胸高直径を測る係で、この業務が一番樹木を覚えるのに役立ちました。

恥ずかしい話ですが、ここに赴任するまでは、北海道の代表的針葉樹のトドマツすら自信をもって言えずにいた私ですが、たくさんの樹木を対象とするこの調査のおかげで少しずつ樹木を覚えていきます。

一番お気に入りの樹木はカツラです。理由は葉が丸っこくて、キューティーだからです。

【丸瀬布のいろいろ】

網走西部署管内には、風穴という特殊な地形環境が

いくつかあります。その中で丸瀬布担当区にある風穴をご紹介します。



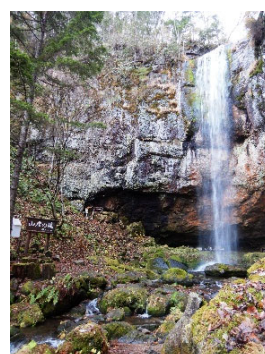
武利風穴

こちらが武利風穴で、風穴とは「山地または火山地の斜面において、地中の空隙から自然の冷風が吹き出し、ときとして夏季に地下氷が見られる特異な現象」とされています。このため周辺では、本来は高山帯に生息するエゾナキウサギやチシマオサムシが低標高にもかかわらず生息しています。

また、風穴からの冷風は夏季にも吹き出し、真夏の猛暑日に行けば天然のクーラーみたいでエモい(俗語:何とも言い表せない気持ち)かもしれません。

丸瀬布には山彦の滝というとても綺麗で立派な滝があり、冬には滝が一本の柱

となって凍り付くそうです。それをライトアップしたナイトツアーもあるそうで、今年も開催されれば行ってみたいと思います。



山彦の滝

【もし熊と遭遇したら】

丸瀬布の山には熊が多いと聞いています。いまだに姿すら見たことはないですが、もし遭遇してしまったら自分の身を守るのは自分です。

調べてみると、意外と熊を撃退した話があり、その中でも私が一目置いたのは、沖縄県の空手家が熊に目つぶしをして撃退した話です。確かに単純な打撃での戦闘では圧倒的にこちらの分が悪いので、急所一点狙いの一発にけるのが撃退の可能性が高いと思いました。とはいえ、これは襲ってきた場合の最終手段であり、可能なら熊に背を向けず目を見ながらの撤退が最良の選択肢となるでしょう。